



被災地の子どもたちへ贈る絵本や童話を段ボールに詰めるボランティアの人たち＝13日、青木撮影



毎日新聞社と財団法人大阪国際児童文学館などが協力し、東日本大震災で被災した子どもたちに本を贈る「いっしょだよ」キャンペーンは13日、東大阪市

1次配布分を発送

希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班 〒100-8051 (住所不要) 毎日新聞生活報道部 ファクス03・3212・5177 メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんに役立つ情報や応援メッセージをお待ちしています。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号(あればメールアドレスも)を明記してください。

福島第1原発周辺の累積線量結果 (文部科学省調べ、12日現在)

浪江町津島仲沖 (30キロ西北西)	29.97
浪江町赤字木七郎 (31キロ北西)	71.19
飯館村長泥 (33キロ北西)	38.25
いわき市三和町差塩 (39キロ南西)	0.602
葛尾村上野川 (31キロ西北西)	10.17
福島市杉妻町 (62キロ北西)	2.408

※単位はミリシーベルト。1ミリシーベルトは1000マイクロシーベルト。カッコ内は福島第1原発からの距離。累積線量は3月23日(福島市は同24日、いわき市は同25日、葛尾村は4月8日)からの値。

◆大気中の環境放射線量◆

都道府県	12日	三重	0.068
北海道	0.040	滋賀	0.060
青森	0.040	京都	0.050
岩手	0.036	大阪	0.079
宮城	0.067	兵庫	0.072
秋田	0.050	奈良	0.076
山形	0.040	和歌山	0.071

の文学館で、第1次配布分の計872冊を発送した。15日に宮城、福島両県の幼稚園や児童館など16カ所へ届けられる。

文学館には共催団体の大阪府書店商業組合や府子ども文庫連絡会のボランティアら約15人が集まり、全国からの寄付で購入した本を

送り先ごとに段ボール箱に詰めた。連絡会の高崎由紀子さん(55)は「子どもたちに笑顔が戻ってほしい」と話していた。13日現在で配布希望先は約120団体。今後も配布応募と寄付を受け付ける。問い合わせ先は事務局 ☎06・6744・0581。

【反橋希美、青木絵美】第1次配布先は次の通り。△宮城県▽亘理いちごっこ(亘理町) △福島県▽たちばな幼稚園(郡山市)、保原幼稚園、上保原幼稚園、柱沢幼稚園、月館保育園、富成幼稚園(以上伊達市)、月輪小学校、松川小学校、余目小学校、まつかわ東幼稚園、平田幼稚園、蓬萊保育所、野田保育所、あゆみ保

育園(以上福島市)、岩井沢児童館(田村市) 福井市内への移住者を募集 福井市殿下地区の「被災者受入委員会」が、被災地からの長期滞在者・移住者を募集している。殿下地区は福井市中心部から西へ約20キロ、越前海岸に近い中山間地にある。2世帯が同時に入れる大きな空き家が約20軒、ホームステイを受け入れる家が3軒あり、計100人ほどを受け入れられる。空き家の家賃は1年間原則無料で、仕事は、車で20分程度の臨海工業地帯の企業を紹介する。地区内に幼稚園から中学校まである。計100軒程度の遊休田畑も使える。